

一生に一度は見てほしい 視界一面に広がる渡り鳥マガンの風景

10万羽を超えるマガンの日本有数の飛来地 蕪栗沼と「ふゆみずたんぼ」

冬にシベリアから飛来するマガンの国内最大級の越冬地として広く知られる蕪栗沼。夕方のねぐら入りや、朝の飛び立ちは大崎耕土の雄大さを象徴する光景です。蕪栗沼は、マガンをはじめ、約200種類の鳥が確認されています。2005年には「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」(ラムサール条約)に登録されました。日本でも珍しいヒシクイやシジュウカラガン、カリガネなども蕪栗沼を利用しています。沼ではマコモ群落からヨシ群落、ヤナギ群落へと植生が移行する低地性湿地の典型的な様子を見ることが出来ます。タコノアシ、ミズアオイ、アサザなど希少な植物も生息しています。

蕪栗沼バードウォッチング



時期：10月下旬頃から2月上旬頃
ねぐら入り：日没30分前から日没後20分頃まで
とび立ち：日の出20分前から日の出30分後まで

蕪栗沼周辺では、「ふゆみずたんぼ」の取組が行われています。稲刈りが終了した冬から春にかけて、田に水を張る「ふゆみずたんぼ」は、江戸時代から行われてきた農法です。冬の間も田に水を張ることで、さまざまな鳥が飛来したり、イトミズなども繁殖・発生したりすることで、多様な生物が生息するなど生物多様性に貢献します。これにより、蕪栗沼1か所に集中していたマガンやハクチョウのねぐらを分散させ、鳥たちがひと冬、地域の田で過ごすことにより養分豊かな土壌を育むことができます。2月から3月にかけて、田に産みつけられた卵からかえったカエルは、春に成長し害虫駆除の役割を果たしてくれます。

ここで作付けされた米は、農業や化学肥料を一切使用しない、安全・安心な有機米「ふゆみずたんぼ米」としてブランド化され、好評を得ています。



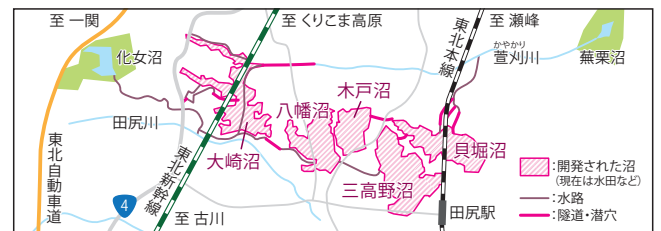
【ふゆみずたんぼのハクチョウ】

湿地帯を水田へと変えた先人の知恵

丘陵地帯に囲まれた低平地に沼地が点在していた田尻地域ではかつて、水田としての利用が難しい地域でした。そんな環境の中、江戸時代には既に沼地の干拓が進められていました。丘陵地にさえぎられて排水が出来なかった湖沼や湿地帯に、下流へ向けて隧道を通して水を流しながら、一方で上流からの用水を確保していきます。下流側から順番に、貝堀沼、三高野沼、木戸沼、八幡沼、大崎沼と55年間をかけて水田化を進め、現在のような約700haの新田を開発しました。

ここで整備された用水路は、今も現役で使われており、中でも萱刈潜穴は1,121mもある長大なトンネルで、人力で採掘した当時の苦勞がしのべれます。

蕪栗沼は、これら新田開発の際にすべての排水が流れ込んだ場所です。一度水田に姿を変えたこともありましたが、洪水・氾濫がくりかえされたため、増えた水を一時的にためるための遊水地として、再び沼に復元されました。そのことが、マガンの日本有数の飛来地としての蕪栗沼の環境を作ったこととなります。



【開発された沼の位置図】

上流から大崎沼(現在の田尻現在の田尻諏訪峠・古川小野付近)、八幡沼(現在の田尻大嶺付近)、木戸沼(現在の田尻大嶺付近)、三高野沼(現在の田尻沼部付近)、貝堀沼(現在の田尻沼部付近)



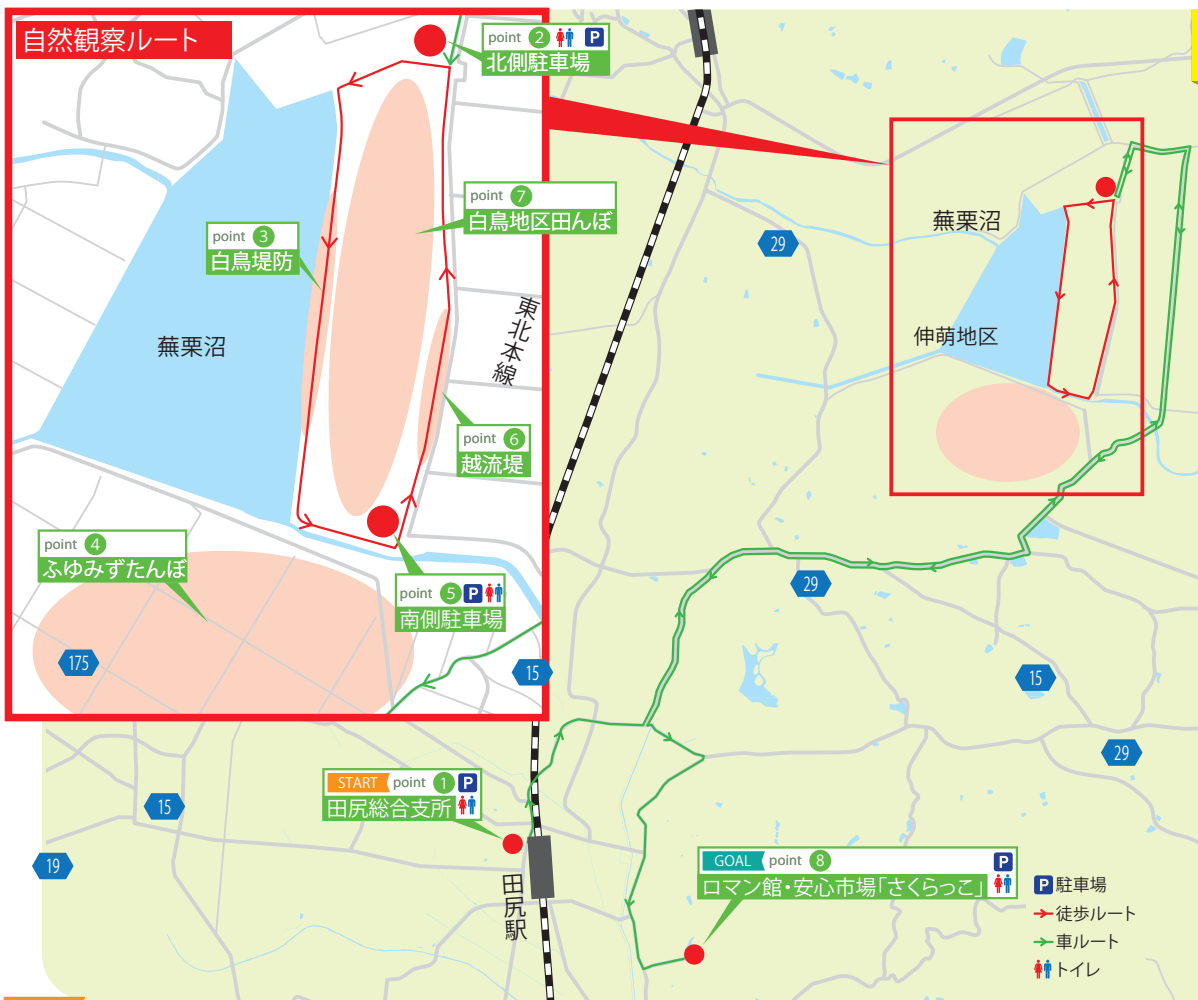
【萱刈潜穴の石碑】



【蕪栗沼遊水地】



【越流堤】



おすすめルートプラン
移動時間: 約1時間20分

- 田尻駅**
450m / 6分
- START**
- 1 田尻総合支所**
10.2km / 14分
電車でお越しの方はタクシーで蕪栗沼へ
- 2 北側駐車場**
2.1km / 25分
駐車場から400mそこから1.5km程度の道
- 3 白鳥堤防**
沼の間の道を抜けると田んぼが見えてきます。
- 4 ふゆみずたんぼ**
- 5 南側駐車場**
400m / 5分
- 6 越流堤**
1.2km / 15分
越流堤は約400mの長さ左側が白鳥田んぼです。
- 7 白鳥田んぼ**
- 2 北側駐車場**
11.5km / 15分
- GOAL**
- 8 ロマン館さくらっこ**
1.8km / 3分
- 田尻駅**

自然観察ルート 移動時間: 約45分 距離: 約3.7km

START

おおさきしやくしよ
大崎市役所
たじりそうごうししよ
1 田尻総合支所

新しくなった田尻総合支所は、地場産木材をふだんに使った建物です。展示スペースでは、世界農業遺産「大崎耕土」の情報収集ができます。また、国重要文化材「木造千手観音像座」が収蔵されています。

■住所 / 宮城県大崎市田尻沼部字岡岡 183-3

かぶくりぬまきたがわちゆうしやじょう
2 蕪栗沼北側駐車場

蕪栗沼は、季節によってもその魅せ方を大きく変化させてくれます。夏にはミズアオイやハスなどの水生植物、冬にはマガンのねぐら入りなど、たくさんの蕪栗沼の顔を見ることができます。大崎耕土案内板が設置されており、マガン、サギのねぐら入りの動画を見ることができます。

■住所 / 宮城県大崎市田尻蕪栗沼新大沼



GOAL

かん
8 ロマン館・安心市場「さくらっこ」

ロマン館は蕪栗沼からも近く、マガンのねぐら入りや朝の飛び立ちを撮影したい方に便利な施設です。そば打ち体験やソーセージづくりも体験できます。直売所さくらっこでは、ふゆみずたんぼ米を販売しています。

■電話番号 / 0229-39-1070 ■体験 / 要予約 ■定休日 / なし
■住所 / 宮城県大崎市田尻小塩字ハツ沢 1

しらとりていぼう かぶくりぬま しらとりちく みち
3 白鳥堤防 (蕪栗沼と白鳥地区の間の道)

両側にヨシやヤナギなど湿地の植物が茂り、冬時期の夜間や早朝には、両側からのマガンの鳴き声につつまれます。※夜間は行けません。

しんぼう
4 ふゆみずたんぼ (伸萌地区)

蕪栗沼の近くでは、冬の間に畑に水を張る風景が見られます。この取り組みは、ガンのねぐらを蕪栗沼の周りに分散することで、沼の水質や生物多様性の保全につながっています。さらに、鳥類の糞が良質な肥料となり、雑草も食べてくれることで、マガンと共生した農業が実現しています。

えつりゆうてい
6 越流堤

増水の時には蕪栗沼および周辺の田んぼは、「遊水地」として水を逃がす場所として活用します。越流堤は、周辺の田んぼに水を流すため、堤防の一部が低くなっているところです。

しらとりちく
7 白鳥地区田んぼ (進行方向左側)

以前は田んぼとして利用されていましたが、マガンなどの生息地を増やすこと、「遊水池機能の維持と豊かな自然環境の保全」のために沼に戻した場所です。よく見ると田んぼの畦が残っているのがわかります。

くらら
農家レストラン蔵楽

築100年以上の蔵を改築した農家レストラン。食べるだけでなく、田植えや野菜の収穫などの農業体験もできます。

■住所 / 大崎市田尻大貫字遠田 5 4
■電話番号 / 0229-39-7548

かこほうやま
加護坊山

蕪栗沼から居根まで、見て回った大崎耕土の風景を一望できる絶景のスポットです。

■住所: 大崎市田尻大沢字加護峯山 1 7 8-1

More Pick UP!!